

全学年	教科：総合学習 学級活動	移動博物館	6月11日	1時間
実践校：長崎市立村松小学校		主担当：田中英明・山田俊介		
目 標	<p>○ 長崎歴史文化博物館の移動博物館の展示を見たりワークショップを体験することで、長崎の歴史と文化について興味・関心を深め、総合的な学習の時間「長崎歴史散歩」の学習への意欲をもつ。 (6年生)</p> <p>○ 校外学習の一助とするため、公共の施設の利用の仕方、展示品などの鑑賞の方法やポイントを知る。また、来年度の長崎歴史散歩に向けて長崎の歴史や文化に興味、関心をもつ。 (5年生)</p> <p>○ 長崎歴史文化博物館の展示品を鑑賞し、触れることで長崎の歴史や文化に親しみをもつ。 (1～4年生)</p> <p>○ 遠隔地その他の理由で来館することが困難な人に、長崎歴史文化博物館の活動に触れていただく機会を提供する。 (保護者・地域)</p>			
学習内容	時間	指導上の留意点・参考事項	評価・他教科関連	
1 公共施設の利用の仕方について知る。	※	○ 各教室で担任から話を聞く。 ・見学するときのマナー ・展示品の鑑賞の仕方 ・手に触れられる展示品の使い方	(1)	
2 長崎の歴史についての概要を知る。	※	○ 学年の実態に応じて、学級にて話をする。	(1)	
3 移動博物館を見学する。	1	○ 会場の案内と諸注意 ・展示スペースと展示品の紹介 ・会場での見学マナーの確認 ○ 1～5年生は自由見学 ○ 6年生は、以下の順。 ①歴史の研究室によるオリエンテーション ②クラス別のワークショップ (展示ブースをローテーションしていく形で) ③自由見学	(1)	
4 見学のまとめ	※	○ 見学して分かったこと、楽しかったことについて感想を書く。 ・学年の実態に応じて、内容を考えさせる。	(3)	
評 価 規 準	<p>(1) 長崎の歴史や文化に関心を持ち、自分の追求したい課題を見つけ、その課題に沿って多面的に考え主体的に追求することができたか。(課題を設定する力)</p> <p>(2) 設定した課題に対する自分の考え方を明確にし、見通しをもって追求し、課題を解決するために必要な情報を交換し、ともに協力しながら活動することができたか。(問題を解決する力)</p> <p>(3) 調べたことを分かりやすく伝える方法を選び、効果的にまとめ伝えることができたか。(表現する力)</p> <p>(4) 学んだことを基に、他の学習や生活に活かしていこうとすることができたか。(活かす力)</p>			

学習活動の軌跡（感想文、作品、現場の記録写真、ノート、ワークシートなど）



会場は、村松小学校体育館



フロアいっぱいに展示品が並びます



直接資料に触れながら、博物館の研究員の方にお話を聞くことができました。



眼鏡橋の模型の積み木は、低学年でも楽しく活動できました。



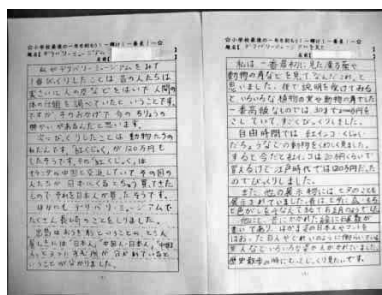
龍馬の刀のレプリカは、一番人気。



大きな絵から人物を探すことで、細かい部分まで注目できました。



子どもたちにとって、貴重な体験となったことは間違いありません。



6年生の感想は、直接資料に触れた感動と、長崎の歴史と文化がとても広く、深いものであると感じ、総合学習の長崎歴史散歩でさらに調べてみたい、じっくり見てみたいという意欲がさらにできました。



2年生の感想には「すごいものを見せてもらった。」「パズルやブロックがおもしろかった。」などとても楽しい活動となったようです。

## 授業担当者による自由記述（活動の特徴、苦勞した点、改善点、学びの発展等）

- 今回の移動博物館は、6年生の総合学習、長崎歴史散歩への興味・関心を高めたいということで、歴史文化博物館に快く引き受けていただいで実現した。
- 移動博物館開催の経過
  - ・昨年度の実践報告会で、今年度の長崎歴史散歩の導入で移動博物館を開催したいと提案。
  - ・4月に入り、正式に移動博物館の申し込み。
  - ・5月に電話での打合せ。
  - ・開催日時の決定。
  - ・6月第1週に歴文担当者が来校し、会場下見及び打合せ。使用する学校備品についての調査。
  - ・6月11日 移動博物館開催
- 移動博物館は、4、5、6校時に行った。
  - 4校時 1、2、3年生の自由見学
  - 5校時 6年生のワークショップ。
  - 6校時 4、5、6年生の自由見学。
- 今回、めったにない機会ということで、学校便りや学校ホームページを使用し、保護者や地域の方々にも移動博物館を見学していただくよう呼びかけた。
- 学校の職員の感想より
  - ・普段見ることのできない展示物や資料を学校で気軽に見ることができたのでとてもよかった。
  - ・実際に触ったり、香りを感じることで興味が深まった。
  - ・楽しく活動していて「れきぶんにいきたい」という児童が多かった。
  - ・子どもたちに分かりやすく展示されていてよかった。また、遊びや体験コーナーもあり親しみをもって取り組むことができた。
  - ・詳しい説明を聞くことができ、長崎の歴史に対する興味が一気に高まった。
  - ・歴史になじみのない4年生でも、本物を見たり、触れたりすることで、長崎の歴史を感じ取っていた。  
(この後4年生は総合学習・ふるさと体験事業で、2学期に龍馬関連の史跡巡りに出かけることが決まった)
- 後日、この日流れていた博物館のDVDをお借りし、6年生の総合学習の時間などに利用させていただいた。
- 見学のマナー面についてもっと指導しておくべきであった。
  - 6年生の時間だけはしっかりと確保し、その他の学年については、学級や学年の授業の状況で好きな時間に会場に入ってよいということにしていた。
  - 各教室では指導をしていたものの、会場に着いてから、もう一度きちんと守るべきことや触ってよい展示品と触ってはいけない展示品などについてしっかり確かめてから自由行動を取らせるべきであった。
  - 歴史文化博物館の연구원の方々には、ご迷惑をおかけした。
  - 小学生は予想外の行動を取ることがあるため、十分に指導しておく必要があることをあらためて感じた。

## 〈使用した学校備品〉

- ・展示用パネル・7枚程度
- ・生活科用机（台形机）・10脚
- ・50型テレビ・2台
- ・長机・11脚
- ・ドラム式延長コード・2台

## 歴史チャレンジ 3年モデルプラン

実践校：長崎市立畝刈小学校（実践案） 授業担当者：梅林一城

学期	国語	社会	音楽	図工	道徳	特別活動	総合的な学習	博物館資料等
1	【人と交わる】 「学級討論会をしよう」 「学級討論会をしよう」 「学級討論会をしよう」 施設について博物館を見学し、自分の考えをまとめ発表する。	【人の思いにふれる】 「長崎市を探検しよう」 歴史文化博物館研究員の話聞き、約100年前からの長崎の変化に興味をもつ。 ☆郷土の発展に尽力した人物の思いにふれる。	【先人に学ぶ】 「くんちのしやぎり」 くんちを味わい、伝統芸能について調べ、生き方について考える。	【先人に学ぶ】 「教科書美術館」 南蛮屏風のすばらしさを味わい、技法や画材等について調べ、工夫について考える。	【先人に学ぶ】 「奉行所をスケッチしよう」 奉行所の瓦に関する話を聞き、興味をもつ。 ☆先人の思いにふれる。	【人の思いにふれる】 「ようこそ先輩」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に対する思いにふれる。	【人と交わる】 「くんちを知ろう」 自分の住む地域のすばらしさを理解し、発信する。	博物館資料等 南蛮屏風 貿易品 長崎の古写真
2	【食べ物はかせになろう】 形を変え大豆について調べ、まとめ。 長崎の食文化について、歴史文化博物館で調べる。	【人の思いにふれる】 「歴史のとびら」 歴史文化博物館研究員の話聞き、約100年前の長崎に興味をもつ。 ☆郷土の発展に尽力した人物の思いにふれる。	【先人に学ぶ】 「くんちのしやぎり」 くんちを味わい、伝統芸能について調べ、生き方について考える。	【先人に学ぶ】 「教科書美術館」 南蛮屏風のすばらしさを味わい、技法や画材等について調べ、工夫について考える。	【先人に学ぶ】 「奉行所をスケッチしよう」 奉行所の瓦に関する話を聞き、興味をもつ。 ☆先人の思いにふれる。	【人の思いにふれる】 「ようこそ先輩」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に対する思いにふれる。	【人と交わる】 「くんちを知ろう」 自分の住む地域のすばらしさを理解し、発信する。	南蛮人來朝図 くんち資料
3	【食べ物はかせになろう】 形を変え大豆について調べ、まとめ。 長崎の食文化について、歴史文化博物館で調べる。	【人の思いにふれる】 「歴史のとびら」 歴史文化博物館研究員の話聞き、約100年前の長崎に興味をもつ。 ☆郷土の発展に尽力した人物の思いにふれる。	【先人に学ぶ】 「くんちのしやぎり」 くんちを味わい、伝統芸能について調べ、生き方について考える。	【先人に学ぶ】 「教科書美術館」 南蛮屏風のすばらしさを味わい、技法や画材等について調べ、工夫について考える。	【先人に学ぶ】 「奉行所をスケッチしよう」 奉行所の瓦に関する話を聞き、興味をもつ。 ☆先人の思いにふれる。	【人の思いにふれる】 「ようこそ先輩」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に対する思いにふれる。	【人と交わる】 「くんちを知ろう」 自分の住む地域のすばらしさを理解し、発信する。	犯科帳記録 世界航海図



## 歴史チャレンジ 5年モデルプラン

実践校：長崎市立畝刈小学校（実践案） 授業担当者：梅林一城

学期	国語	社会	音楽	図工	道徳	特別活動	総合的な学習	博物館資料等
1	【人と交わる】 「学級討論会をしよう」 「バリアフリー施設について博物館を見学し、自分の考えをまとめ発表する。」	【人の思いにふれる】 「歴史のとびら」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に対する思いにふれる。		【先人に学ぶ】 「奉行所をスケッチしよう」 奉行所の瓦に関する講話を聞き、興味をもつ。 ☆先人の思いにふれる。	道徳		【人と交わる】 「バリアフリー施設を見学しよう」 自分の住む地域のユニバーサルデザインを調べ、紹介する。	南蛮屏風 スロープ・手すり 貿易品
2		【人の思いにふれる】 「かわらばんと現在の新聞」 歴史文化博物館研究員の話聞き、新聞について興味をもつ。	【先人に学ぶ】 「くんちのしやぎり」 くんちを味わい、伝統芸能について調べ、生き方について考える。	【先人に学ぶ】 「教科書美術館」 南蛮屏風のすばらしさを味わい、技法や画材等について調べ、工夫について考える。	【人の思いにふれる】 「ようこそ先輩」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に対する思いにふれる。		【人と交わる】 「行ってみたい国」 博物館研究員との関わりから、オランダ・中国などに対して興味やあこがれをもつ。	南蛮人來朝図 くんち資料
3		【人の思いにふれる】 「日本の位置」 現在の中国や韓国との距離や位置について興味をもつ。 ☆裁判に対する思いにふれる。		【あこがれや志を表す】 「夢を集めて」 友達と話し合い、思い出や記念になる作品を共同で作る。	【先人に学ぶ】 1-(2) 勤勉・努力 古文書修復作業の苦勞を知り、自分の夢に向かって今何をすべきか考える。		【あこがれや志を表す】 「最高学年に向けて」 これまで学んだことをまとめ、友達と高め合い、自らの将来について考える。	犯科帳記録 世界航海図 古文書

## 歴史チャレンジ 6年モデルプラン

実践校：長崎市立畝刈小学校（未実践） 授業担当者：梅林一城

学期	国語	社会	音楽	図工	道徳	特別活動	総合的な学習	博物館資料等
1	【人と交わる】 「ガイドブックを作ろう」 観光名所を見学し、相手意識と目的意識をもつて、自分の考えをまとめ発表する。	【人の思いにふれる】 「歴史のとびら」 歴史文化博物館研究員の話聞き、長崎の歴史に興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に對する思いにふれる。		【先人に学ぶ】 「奉行所をスケッチしよう」 奉行所の瓦に関する講話を聞き、興味をもつ。 ☆先人の思いにふれる。		【人の思いにふれる】 「伝統的な食事体験しよう」 食事に興味をもつ。 ☆食育に對する思いにふれる。	【人と交わる】 「さるくガイドブックを作ろう」 修学旅行に向けて、自分の住む地域のすばらしさを理解し、他県からの観光客に長崎の観光スポットを紹介する。	南蛮屏風 貿易品
2	【人と交わる】 「学級討論会をしよう」 バリアフリー施設について博物館を見学し、自分の考えをまとめ発表する。	【人の思いにふれる】 「歴史のとびら」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に對する思いにふれる。	【先人に学ぶ】 「くんちのしやぎり」 くんちを味わいたい、伝統芸能について調べてみる。	【先人に学ぶ】 「教科書美術館」 南蛮屏風のすばらしさを味わい、技法や画材等について調べ、工夫について考える。	【人の思いにふれる】 「ようこそ先輩」 歴史文化博物館研究員の話聞き、歴史に関する興味をもつ。 ☆博物館教育の普及に對する思いにふれる。	【人と交わる】 「行ってみたい国」 博物館研究員との関わりから、諸外国に對して興味やあこがれをもつ。	南蛮人来朝図 くんち資料	
3		【人の思いにふれる】 「暮らしと政治」 現在の裁判制度と奉行所での裁判制度に對して興味をもつ。 ☆裁判に對する思いにふれる。		【あこがれや志を表す】 「夢を集めて」 友達と話し合い、思い出や記念になる品を共同で作る。	【先人に学ぶ】 1-(2) 勤勉・努力 自分に向かっているべきかを考える。		【あこがれや志を表す】 「世界の国と日本」 日本と関わりが深い国について調べたことをまとめる、これからの交流の仕方について考える。	犯科帳記録 世界航海図

## 貸出教材の活用について（平成18年度 長崎市立桜町小学校での実践）

西海市立瀬戸小学校 福田浩久

子どもたちに歴史への興味を持たせることを大きなねらいとし、校内3階の廊下に設置している掲示板「歴史コーナー」に、貸出教材を掲示しました。

（寛文長崎図屏風）



歴史コーナーには、次の物を掲示しています。

- ・歴史年表（等尺年表）
- ・6年生が社会科の歴史学習の時間に、単元のまとめとして制作している年表（写真の左下）
- ・貸出教材



貸出教材には、右の説明をつけました。

自分たちが住んでいる町や諏訪神社が絵の中に描かれていることに驚きを持ち、歴史について興味を持つ子どもがいました。

もっと早い時期（歴史学習を始める年度初め）から掲示をしておけばよかったと思います。



(長崎港図)



12月は「長崎港図」をお借りして掲示しました。

6年生は学習したことや知識をつなげて、「出島があるね」「これが唐人屋敷かな？」などと話していました。

新地は、現在と比べて様子がずいぶん違うせいか、よくわからなかったようです。

また、港に浮かぶ船の様子を話している子どももいました。

くんちの出し物「唐人船」「阿蘭陀船」などによく似ていると話していました。

よく見るといろいろな発見があるようです。

歴文の方は皆さん親切で、こちらの無理なお願いにもできるだけ対応してくださいませ。(それについつい甘えてしまうのですが…)

この貸し出し教材も「こんなのが使いたいなあ」というお願いに合わせて作っていただきました。

これを発展させ、「〇〇小ミニ博物館」なんていう取り組みもやってみるとおもしろいと思います。